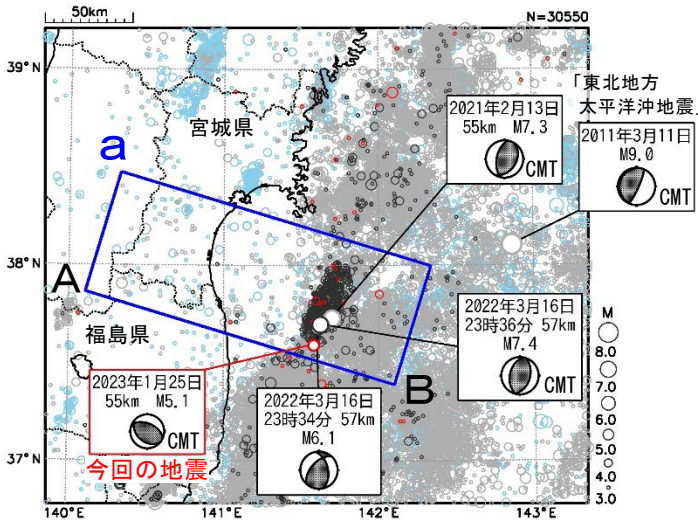


1月25日 福島県沖の地震

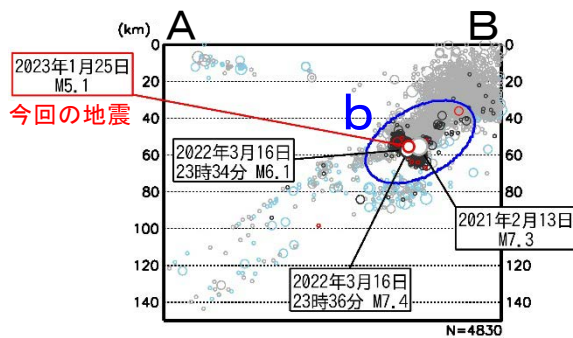
震央分布図

（1997年10月1日～2023年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ ）

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年3月16日以降に発生した地震を**黒色**、
2023年1月に発生した地震を**赤色**で表示



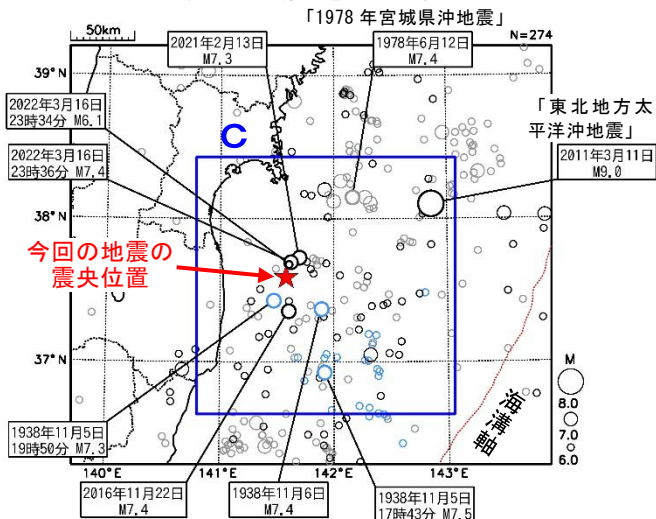
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

（1919年1月1日～2023年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ ）

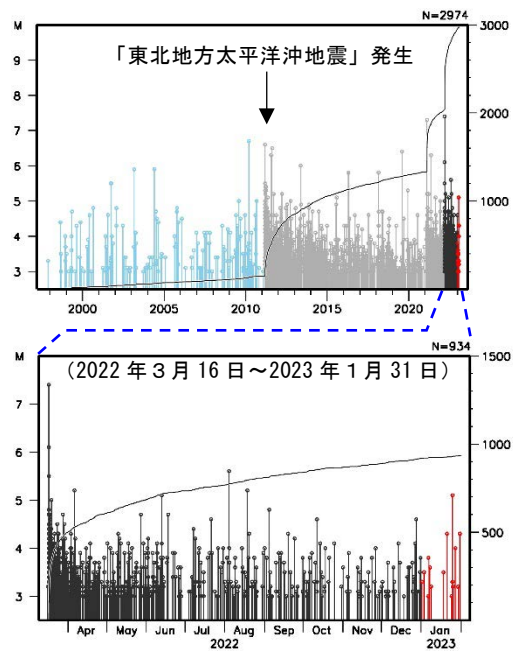
1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月11日以降の地震を**黒色**、
その他の期間を**灰色**で表示



2023年1月25日10時00分に福島県沖の深さ55kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震源付近（領域b）では、2022年3月16日にM7.4の地震（最大震度6強）が発生し、地震活動が活発になった。2023年1月の活動状況をみると、当初と比べると低下しているものの、地震回数の多い状態が継続している。

1997年10月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前はM5.0以上の地震が時々発生していたが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震がしばしば発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震（最大震度5）が発生し、宮城県花巻で113cm（全振幅）の津波を観測した。

領域c内のM-T図

